

夏休みは30分早く開館します！

☆より多くの子どもたちに利用してもらうために、夏休み期間(7/21～8/31)は開館時間を30分早めます！☆

●通 常【平日:10:00～19:00、土日:10:00～17:00】

●夏休み期間【平日:9:30～19:00、土日:9:30～17:00】

☆9月1日からは、通常の開館時間に戻ります☆

☆読書通帳にスタンプを押そう!!☆

7/1～8/31の間、10冊たまるとに下の8種類のスタンプから1つ選んで押せます。スタンプが4つたまるとプレゼントがあります。お楽しみに!!



・・・いつでも、どこでも読める電子図書館・・・



電子図書館
ホームページ



電子図書館
申し込みについて



図書館だより

【問】南風原町立図書館 ☎889-6400

開館時間／10:00～19:00(土日17:00まで)
休館日／毎週火曜日、第4木曜日、祝日

7月受入予定図書

都合により受入れが遅れる場合があります(詳しくは図書館まで)

・ジェイソン流お金の増やし方／厚切りジェイソン

・クワガタムシハンドブック増補改訂版／横川忠司

・特許やぶりの女王 弁理士・大鳳未来／南原詠

・チョウセンアサガオの咲く夏／柚木裕子

・刑事弁護人／薬丸岳

・空のふしぎがすべてわかる! すごすぎる天気の本／荒木健太郎

・ちびまる子ちゃんの友だちづき合い／さくらももこ

夏休み親子工作『絵本バックを自由にデザインしよう』

日 時: 7月29日(金)11:00～12:00

場 所: 南風原町立図書館 絵本コーナー

対 象: 町内の小1～小3の児童で親子で参加できる方

定 員: 親子5組(コロナ感染予防対策にご協力お願いします)

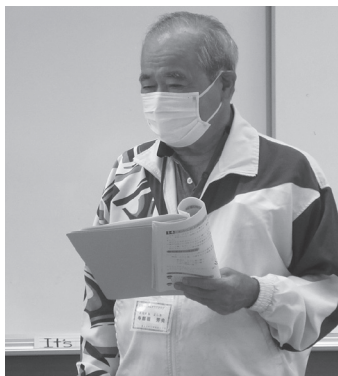
参加費: 無料

申 込: 図書館カウンターにて、7/11～受付開始
定員に達し次第受付終了します。

学校応援隊はえばる

ボランティアにご協力いただけるかたは、ぜひお電話ください。【問】南風原中央公民館 ☎889-0568

南風原小学校・4、5、6年 令和4年5月2日(月)～6月27日(月)



「クラブ活動」

クラブ活動を通して異学年の生徒が地域の皆さんの協力をいただき、楽しく活動しています。

しまくとぅばクラブ
よなみねよしお
与那嶺芳夫さん

北丘小学校・4年 令和4年5月26日(木)



「盲学校の先生のお話を聞こう」

盲学校児童の学習の工夫や視覚障がい者の生活、決まり事等について学びました。

沖縄県立沖縄盲学校
まじきな たから
真境名貴子さん(左)
ひらた
平田まゆみさん(右)

南風原小学校・3年 令和4年5月13、16、25日

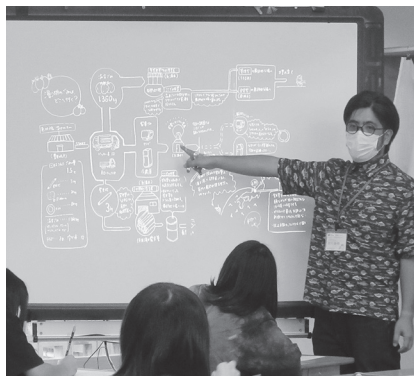


「もっと知りたい南風原町」

南風原の文化、伝統、農産物について8名の講師を招き学習しました。
(石獅子・綱引き・ストレリチア・スターフルーツ・餅・カボチャ)

JAおきなわ
きんじょうりょういち
金城亮一さん

津嘉山小学校・5年 令和4年6月7日(火)、6月8日(水)



「環境 世界のゴミ事情」

児童は、マイクロプラスチックや環境保全活動について学びました。

漫湖水鳥・湿地センター
いけむら ひろあき
池村浩明さん

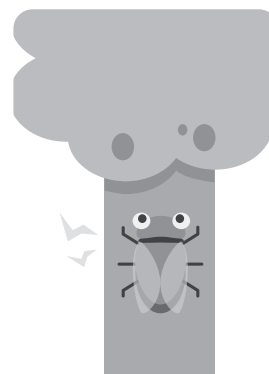
はえばるエコセンターだより

南風原町民の方優先で、エコを身近に感じられる体験を毎月開催しています。申込みはエコセンターへ来店または電話にて予約ください。

【問】はえばるエコセンター ☎098-889-4425

※講座に参加の際は、マスク着用・事前検温をお願いします。
※感染拡大の状況によっては、講座が延期・中止になる場合がございます。

全ての講座は7月19日(火)より申込み受付開始です。



黄金森自然観察会

黄金森に住む生物を調べてみよう。
講師: 石神安弘

▶日時: ①7月28日(木)

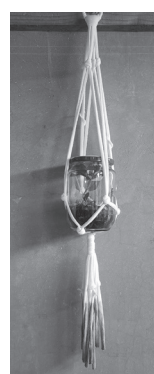
②8月25日(木)

9:30～11:30

▶料 金: 大人300円 子ども200円

▶集合場所: 中央公民館

▶定 員: 20人



ミニ地球&プランツハンガー作り

水をあげなくても育ち続けるテラリウムを作り、地球の水循環を感じよう。

▶日時: 8月4日(木)

9:30～11:30

▶料 金: 500円

▶場 所: 中央公民館

▶持ち物: Tシャツ、広口のビンまたはペットボトル

▶定 員: 20人

親子講座のご案内

7月後半～8月の講座は、小学生とその保護者を優先の「親子講座」となります。

自由研究にもおすすめの内容です。講座のある7月28日、8月4日、18日、25日はエコセンターの営業時間は13時～17時となりますのでお気をつけください。



文化の泉 宝物

南風原文化センター
☎889-7399

(No.30)

復帰50周年企画展特集⑤ コーラ瓶からみる世変わり

今年3月、黄金森で清掃をしていた職員が、しげみのなかからあるものを発見しました。それは...リットルのコカ・コーラの瓶! このコーラ瓶から、沖縄のコーラ事情の変遷に話がはずみました。

戦後、復帰前の沖縄では、ミスターコーラなど地元生産の安価なコーラが出回りました。南風原ではコカ・コーラが広く流通したのは復帰後しばらくしてからだったという話がよく聞かれます。それ以前、県外への修学旅行のときにはリットルの瓶のコカ・コーラがおみやげの定番だったそうです。重い瓶のコーラをいくつも抱えて帰り、自慢げに配ったのだとか。一方、喜屋武のあるおじいさんは、コカ・コーラの飲み慣れない味に「うれー、コーラあらん」と言っていたそうです。

また、復帰前は、空き瓶を「ビントゥケーヤー」に1セントで売ることができました。ゴミが出ないエコなしくみですね。さらに、戦後間もない頃は、コーラ瓶を熱した針金で切断して、コップとして活用していました。復帰から50年の今年、身近なものから社会の変化をふりかえり、今の暮らしを考えてみるのも面白いかもしれませんね。(前城)

*南風原文化センター常設展示室では、コーラ瓶をはじめ戦後の暮らしの道具を展示しています。



常設展示室



黄金森から出てきた
コカ・コーラ瓶



飲料瓶から作られたコップ